

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの食と栄養		科目コード	17Y510	担当者	高比良 智子			
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中◎、小△）					
乳幼児期の発育・発達と栄養の関係を理解し、食べ方・食環境及び食育について学びます。また、調理実習・食育の模擬授業等を通して、実際の保育に役立つ実践力を身につけ、特別な配慮を要する子どもや、保護者への支援あり方など、個別の課題についても学びます。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	健康な生活の基本としての食生活、食品の基礎知識を学ぶ。										
2.	子どもの発育・発達段階に応じた栄養や食生活の意義を理解する。										
3.	子どもの献立作成や調理方法及び与え方について理解し、身につける。										
4.	子どもの発育・発達と食育の必要性や食育計画について理解する。					○	◎	○	◎	◎	○
5.	保護者及び特別な配慮を要する子どもの食生活支援の実践力を身につける。					成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（50%） 提出物（20%） 発表内容（20%） 受講態度（10%）					
前期：スライドや媒体を使つての講義を中心に、途中でグループワークを取り入れて進め、資料等の配布をします。学習内容に応じて、課題の提出をしていただきます。 後期：食物アレルギーに関する講習会、離乳食・幼児食などの調理実習をします。また、グループで食に関する相談・支援・食育活動等についての研究発表をします。											
準備学修						課題等への対応					
授業を受けるにあたっては、毎日10分程度の予習を必ずお願いします。また、講義・実習・研究発表実施後は、認知度や習得力向上を目的として、レポートを提出していただきます。※調理実習時には、エプロン・三角巾・マスク・手拭き・シューズが必要です。						卒業後の実践の糧となるよう、試験結果や課題提出後は、振り返りができるよう、共通認識や必要に応じて個別対応を行います。					
授業計画											
第1回	小児の栄養と食生活の意義				第16回	乳汁栄養の実際					
第2回	小児の発達・発育と栄養				第17回	離乳食の実際					
第3回	栄養に関する基礎知識①				第18回	幼児食の実際					
第4回	栄養に関する基礎知識②				第19回	乳幼児の食物アレルギー及びその他の問題対応					
第5回	保育所保育指針：『食育の推進』『食育計画』				第20回	乳汁期の調理実習○（調乳・だし汁・重湯）					
第6回	乳児期の食生活①※特に乳汁栄養、卒乳				第21回	離乳期の調理実習○（離乳食）					
第7回	乳児期の食生活②離乳食				第22回	仮題『乳幼児の食物アレルギー』講演会					
第8回	幼児期の食生活、乳幼児の献立作成				第23回	仮題『食物アレルギー対応の体験談』講演会					
第9回	生涯発達と食生活				第24回	幼児期の調理実習○（幼児食）※間食も含む					
第10回	特別な配慮を要する子どもへの対応				第25回	幼児期の調理実習○（食物アレルギー）					
第11回	食事摂取基準、食品の基礎知識、食品表示				第26回	調理実習及び講演会後のレポートから					
第12回	家庭や児童福祉施設における食生活				第27回	食育：教育・栄養相談③-1実践計画・完成					
第13回	“私、の食生活の振り返り				第28回	食育：教育・栄養相談③-2実践計画・リハーサル					
第14回	食育：教育・栄養相談①必要性、実践方法				第29回	食育：教育・栄養相談④-1発表・まとめ					
第15回	食育：教育・栄養相談②私たちの実践計画案				第30回	食育：教育・栄養相談④-2発表・まとめ					
教科書・参考書				受講生へのメッセージ							
◎新版 子どもの食生活（ななみ書房） ○食品成分表（とうほう） ○保育所保育指針				私たちのからだは、食事からつくられています。ましてや、人生の基礎を作る乳幼児期は、発育発達と深くかかわっていることを認識してもらい、基本は、『将来保育者となる私の健康な食生活から！』を心に留め、楽しく学習していきましょう。							